

毎週日曜発行  
2023 2/26

# こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



今年もあの日が近づいてきました。東日本大震災から12回目の3月11日です。「まだ生まれてないよ」という人が多いかもしれないので、どんなことが起きたのか、振り返ってみたいと思います。

2011年3月11日午後2時46分、それまで誰も経験したことがない、長く大きな揺れが東北や関東地方を襲いました。電車が止まって、職場

や学校から家に帰れない人や、電話がつかないながらなくて家族に会えず、何日も心配な日を過ごした人がいました。

電気、ガス、水道が止まり、夜は寒くて真っ暗。お風呂にしばらく入れませんでした。お店の商品は売り切れても、なかなか新しい物が運ばれて来ません。食べ物を探し回って、長い列に並んでようやく少しだけ手

に入りました。ガソリンスタンドも開いていないので、自由に車を使えませんでした。

避難所は人であふれて、感染症やストレスで体調を崩す人もいました。皆で支え合って生活しました。世界中の人が助けに来てくれたり、物を送ってくれたりしました。福島第1原発の事故で放射性物質に汚染されて、今も帰れないま

があります。

建物が崩れ、火災が起きました。そしてたくさんの方の命を奪ったのは、想像を超えてやってきた巨大津波でした。

実は、東日本大震災と同じくらい大きな地震や津波は、昔も何度か起きています。いつしかそれを知るの、ほんのわずかな人だけになっていきました。12年前のあの時、こんな巨大な地震と津波が過去にも起きていたと知っていたら、また起こる可能性があると考えて

いたら、被害の大きさは違っていたと思います。

次の大震災はきょうかもしれないし、1000年後かもしれない。また想像を超えるかもしれません。

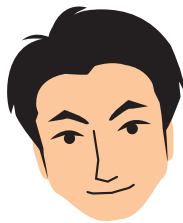
みんなにお願いです。おうちの人に聞いたこと、学校で学んだこと、学ぼう防災で知ったことを忘れないで、まだ知らない人に伝えてください。今度はちゃんと、未来へ届くように。

(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

おりはらアドバイザーの

## 学ぼう防災

33



# 次が起ころる可能性を考えて

12年前を振り返る



交通機関がマヒ 家に帰れない人が多数



電気やガスがストップ 避難所で身を寄せ合う人たち



ガソリン不足 スタンドに長い列

東日本大震災から学ぼう!つなごう! 防災・減災パネル展in科学館

スリーエム仙台市科学館で3月21日まで

震災当時の市内の様子を伝えるパネルや、備蓄食料などの備えアイテムなどを展示

仙台防災未来フォーラム2023

仙台国際センター

3/4 ±  
9:30~16:30

災害時の段ボール活用方法を学ぶ子ども向けワークショップや、あつこおねえさんとおりはらアドバイザーの防災を学ぶステージショーもあるよ!!

イベントに行つて 防災を考えてみよう!!

### 今週の注目ニュース

◇3月1日(水) マヨネーズの日

1925年3月、キューピーが日本で初めてマヨネーズを製造、販売しました。栄養豊富な卵黄を、マヨネーズ450gにつき3.6個分使っているんだって。ちなみに、最初は瓶詰めだったよ。

### きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 特別養子縁組を知って

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ